

文 献 解 題

Audot Père (ed.), *L'Italie, la Sicile, les Iles Éoliennes, l'Île d'Elbe, la Sardaigne, Malte, L'Île de Calypso etc.*, 2 vols., Paris: Audot, 1834-1837.

本書は、パリで出版社を経営するとともに地理学者でもあった大オド (Audot Père) が編纂したイタリア百科である。1834～1837 年にかけて出版された。本来は全 6 部 3 巻の構成だが、2 巻と 3 巻は合本されている。今回研究所に所蔵されたのは、第 1 巻目である (2016 年 1 月現在)。各頁 2 段組による印刷。第 1 巻目の各部が扱うのは、第 1 部がトスカーナ地方で、全 114 頁。第 2 部がヴェネツィア、ミラノ、ロンバルド＝ヴェネト王国、周辺諸国で、全 108 頁。第 3 部がピエモンテ、サルデーニャ島、シンプロンで、全 180 頁である。全体にわたり、挿絵として、イタリア現地で入手したという多数の鮮明な銅版画を収録している。

本書はイタリアについて全貌を紹介することを目的としたもので、地理的にはマルタ島などもふくめてイタリア全域を、歴史的には古代ローマから当代まで、分野も、景観・地勢・政治・経済・建築・人性・風俗など万般を取り上げている。各巻ごとに執筆者を立てて、現地を観察記述するとともに、ラテン語・フランス語・ドイツ語・英語によってイタリアを紹介した古今の文献を博搜・選別して記述に織り込んであり、広範・綿密で充実したイタリア紹介となっている。

本書は、国家統一がなされる以前の小国分立状態のイタリア (これが西ローマ帝国崩壊以後 1300 年間の常態だった)、そして鉄道網など近代文明が広がる以前のイタリアを全体的に詳述してあって、貴重な史料である。銅版挿絵も、当時の様子を視覚的に伝えて貴重である。

(文責 鳥越輝昭)

『中国皮影戲全集』(全 24 冊)

魏力群主編, 文物出版社 2015 年 11 月

中国の人形劇のうち影絵芝居 (皮影戲) の全容を概観するのに好都合な資料集成である。その源流、演出、歌唱、脚本、造型、彫刻、芸人、民俗、文論など、中国各地の皮影戲のほぼ全体を総合的に理解することができる、資料集成になっている。とくに、約 20 年にわたって 25 の省市 170 余りの県の 2000 名ほどの皮影職人と関連人士を視察・訪問し、大量の視察ノートと調査アンケートを蓄積して、大量の関連資料を参照して研究を進めた成果とされており、きわめて貴重な資料集である。

日本の人形劇は中国から伝わったと考えられており、その起源や発展、様式などを考究する上で大いに参考になる。

(文責 山口建治)